課題領域	めざす方向性	(1) 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	(2) 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	(3) 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	(4) 共に生き、共に創る地域社会の創出	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	(6) 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	(7) 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	(8) 公共資産の維持管理と有効活用	(9) 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出
生活	(A) 市民生活の安定（安定・落ち着き・安らぎ）	1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること	8 市民自ら、人にやさしい手をしのべること	17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと	24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること	35 まちと自然環境の調和がとれていること	46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること	56 身近に親しみや愛着のもてる景観があること	66 市民の財産である自然を守り、育てられていること	73 活気があり、開放的で温かいまちであること
				18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること	25 生活環境を守るために地域でまとまりがあること	36 誰もが快適に暮らせ、居心地のいいまちであること	47 みんなが協力して、いつでもまちがきれいであること	57 すべての世代がのびのびいきいき活躍していること	67 移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること	74 いつも自然の豊かさを感じられていること
	(B) 市民生活の豊かさ（役に立つ・便利・快適・楽しい）	2 市民が自慢できるまちであること	9 子どもを安心して育てられる環境があること	19 治安の良い環境であること	26 子育て世代を支える環境が充実していること	37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること	48 豊かな緑に囲まれた生活が出来ていること	58 地域の特徴が活かされたまちであること	68 日常生活に安らぎや豊かさを与えてくれる場所があること	75 豊かな地域資源を生に、楽しい体験ができるまちであること
		3 市民自らが藤沢を良くする活動に積極的であること			27 お互いの個性が尊重されていること	38 イベントや物産品などの地域ブランドが定着していること	49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること	59 安全で安心な食べ物が身近で得られること		76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること
活動	(C) 持続的活動（伝える・維持する）	4 藤沢市で活用できる様々な資源を有効活用していること	10 子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けていること	20 安全・安心を高める活動が盛んであり、ボランティアの精神が高いこと	28 地域のための一人ひとりの活動が大切にされていること	39 身近にある緑が適切に保全されていること	50 市民の環境美化への意識を高める工夫がされていること	60 まちに若者が多く、活気があること	69 市民が利用する身近な施設が大切にされていること	77 藤沢の魅力がメディアで発信されていること
			11 地域の歴史文化を教育活動に活用すること			40 地域にある様々な地域資源が活かされていること		61 観光により地域が元気になること		78 常により良い地域にしようと住民が活躍していること
	(D) 創造・推進活動（発展・チャレンジ）	5 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること	12 地域協働で、教育や人材育成に熱心であること	21 市民が協力し合い、安心して住みやすいまちであること	29 いろいろな世代、いろいろな国の人たちと交流できること	41 調和のとれた景観づくりが進められていること	51 先進的な環境対策がなされていること	62 産業の活力を高め、地域が元気になること	70 様々な主体によって、身近な公共の場が維持管理されていること	79 市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること
					30 お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動していること			63 地域の人材が働ける機会を創造すること		
基盤	(E) 交流基盤（交流・つながり・連携）	6 誰でも気軽に市内の情報を発信したり、得ることができること	13 地域が子どもを見守り育てる環境であること	22 様々な世代が、快適で住みよいまちであること	31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること	42 市民同士が協力し合いながら暮らしていること	52 周辺自治体や他地域と共に環境対策を進めていること	64 商店街と大型店舗が共存共栄し、活気あるまちになること	71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること。	80 市民と来訪者が交流できる機会や場があること
			14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること		32 人々が交流して、平和で ぬくもりのある社会であること	43 子供が大人になっても密着の持てるまちであること	53 市民・地域が協力して持続可能な環境ができていること			81 地域の記憶や文化が継承され、発展すること
	(F) 市民生活の基礎（学ぶ・育む・人材育成・仕組みづくり）	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	15 子どもたちが積極的に交流できる場が整備されていること	23 福祉が充実し、子ども、障害者から高齢者まで守られていること	33 地域の中で学べる勢囲気があること	44 河川や海岸が市民に開かれていること	54 地球環境に優しい手段で移動できること	65 市内の交通・物流がスムーズに行われること	72 いろいろな市民の学びの場が充実していること	82 藤沢ならではの取り組みが実践されていること
			16 子どもたちが身近な生活の中で自然を感じていられること		34 地域で支え合い暮らせる環境であること	45 地域の未来の担い手が育成されていること	55 環境美化活動を支える仕組みがあること			83 子どもから大人まで、文化に触れる環境が整っていること

①協働型の課題解決で価値向上へ

②強みや魅力の維持・向上を

③より効率的に価値の維持を

④熟慮と根拠ある未来戦略を

重点・ふじさわ未来課題

表 14 ふじさわ未来課題マトリックス（長後地区）